



春日山城と七尾城の「山城」繋がり生かせ

杉田 勝典(公明党)



問／謙信公と縁が深く、同じく山城の石川県の七尾城とコラボし、春日山城を盛り上げては。春日山城のCG画像を制作し活用してはどうか。

答／七尾城の取り組みは、春日山城の通年観光計画策定で参考にしており、将来イメージの一例に挙げたところ。CG画像は今後検討したい。

北陸新幹線敦賀延伸に向けた施策は

問／敦賀延伸を当市の観光等振興に繋げては。

答／佐渡や新潟県の西の玄関口という立地を生かし、北陸・関西からの旅行先選ばれる地域を目指したい。旅行会社向けのモニターツアーを予定しており、その結果を踏まえ具体的な施策を講じるとともに、地域の磨き上げを図りたい。

増え続ける単身高齢者を守る支援体制の強化を

問／65歳以上の単身高齢者の実態は。また、終活を支援する取り組みを強化してはどうか。

答／高齢者人口の約2割を占める状況で、相談支援体制強化に向け、相談マニュアルを作成する。

自転車ヘルメット着用率アップで事故防止

問／ヘルメットの着用率を高めるため、購入費用の一部を助成する制度を導入してはどうか。

答／助成制度実施市町村の取り組みや、ヘルメット着用率への効果などを研究していきたい。



冬の電気代、事業者等に最大10万円支給！

宮川 大樹(みらい)



問／光熱費等が最も高くなる冬期に、エネルギー価格高騰支援をすべきと考えるがどうか。

答／国の臨時交付金を活用し、中小企業者等へ支援金を支給する。

産業廃棄物最終処分場整備に向けた市の対応は

問／候補地である柿崎区竹鼻地区と下中山地区で地元住民説明会が開かれたが市の対応は。

答／市職員を事業主体の県や事業団に派遣し、市民に寄り添い整備に向けて協力支援していく。

保倉川治水対策の取り組み

問／保倉川放水路のルートが国から示されたが、市の所見と今後の対応はどうか。

答／放水路沿川地域のまちづくりの検討を進め、地域との合意形成を最優先に、一刻も早い保倉川放水路の事業化に向けて取り組んでいく。

問／保倉川の水位上昇に伴い、下五貫野の農業用取水堰で土砂堆積が生じた事案への対応は。

答／河川管理者の県に要望したところ、土砂の堆積量を見極め治水上の緊急性を検討し、必要に応じて土砂の撤去を行うとの回答があった。

問／水位上昇が頻繁に発生する事を踏まえ、常時、適切な管理を行うべきと考えるがどうか。

答／流域治水の考えで、ソフト・ハード面ともに対応を徹底していく。



そもそも観光都市になる必要はあるのか

滝沢 一成(政新クラブ)



問／そもそもなぜ上越市は観光都市になる必要があるのか。

答／当市を観光都市にする事や、観光を基幹産業とする事を目指してはいない。歴史・文化や自然や食など、地域固有の資源の価値に気付いていない市民も多い。観光という手法で、これらを付加価値の高い観光資源として継承したい。

問／「観光都市を目指さない」発言に驚いた。「地域固有の価値に市民は気付いていない」のであれば、観光だけを手段とすることはないので。

答／観てもらう事が、継承されてきたものを残す一つの手段となる。観光に携わる事業者が増え、若者が定着することも必要だ。

問／歴史・文化や自然というどのまちでも言える言葉ではなく、上越市だけが持つ存在意義を計画に示すべきではないか。

答／例えば雪だと思う。そうした今あるものを生かす外からの視点が必要だ。

問／上越でない観られない・できない体験がないと選べないのでは。当市の存在意義を示す観光基本計画を策定したうえで実施計画策定という段階を踏むべき。「外からの視点」外にこだわる必要があるのか。内ではだめなのか。

答／外のしか発見できないものがある。内の人でも外の視点で魅力を発見できるなら良い。

問／外にこだわるのが理解できない。